



平成31年3月26日

第1回勇希の会

横浜市大センター病院 造血幹細胞移植 患者会 **第1号**



記念すべき第1回勇希の会

これから移植をする人や移植後の生活で困っている人の助けになりたい、役に立ちたいという思いから、勇希の会は設立されました。困っていることや不安な気持ちを受け止める場所、話すことで気持ちが楽になれる場所になれば良いと思います。

勇希の会は、**勇**気を持って病気に立ち向かえば、**希**望は叶うという意味が込められています。

司会：原子さん

藤澤先生と白濱師長の挨拶から始まり、プロのような原子さんの司会で、会は滞りなく進みました。参加者は途中退席も含め、患者さん7名、ご家族3名、運営スタッフ9名、看護師4名、医師3名が参加しました。



前半は体験談：橋本さん

15年前に、骨髄バンクからの移植をした勇希の会代表：橋本さんは、入院中、『欲しい車を買う』という目標を立て、それを目指して辛い入院生活を乗り越えたことや、仕事復帰をする上でのアドバイスなど、貴重な体験談を話してくださいました。



後半：グループワーク

会のルールをみんなで確認し、2グループに分かれ、約1時間フリートークをしました。移植後の食事についてや、入院中のこと、ご家族の思いなど、どちらのグループも大変盛り上がっていました。話し足りない方もいらっしまったのではないかと思います。

アンケート

終了後参加された皆様にアンケートを書いていただきました。ほとんどの方が次回もまた参加したいと答えてくださいました。同じ血液疾患と闘う皆様へメッセージもいただきました。メッセージは病棟に掲示し、入院中の皆様に届けたいと思います。

次回からの勇希の会日程

第2回 勇希の会

2019年7月3日(水)

13:00~15:00

本館4階会議室

移植を経験したご家族の立場での体験談をお話していただきます。

第3回 勇希の会

2019年10月9日(水)

13:00~15:00

本館4階会議室

振り返り

スタッフの人数のほうが、若干多かったが、第1回には、段取り通り進み、ピアサポートという本来の目的に沿った会になったのではないのでしょうか。

次回の目標

日程が決定次第早めにチラシを作成し、一人でも多くの方に参加していただく。多くの人に周知できるように、病院・外来スタッフや医師に協力を依頼する。